

8. 公衆衛生看護学実習

公衆衛生看護学実習

1) 実習目的

地域の健康水準の向上に向けた公衆衛生看護活動の実際を学び、地域ケアシステムにおける看護職者の役割を理解する。

2) 実習の実習目標

(1) 公衆衛生看護学Ⅰ実習 【京都市保健福祉センター その他関係機関】

- 実習目標：①地域の特性と対象の健康課題を考えることができる
②公衆衛生活動の実際を理解できる
③関係機関・住民との連携と協働の必要性を理解できる
④地域づくりに必要な社会資源について考えることができる
⑤公衆衛生看護活動における保健師の役割を考えることができる

(2) 公衆衛生看護学Ⅱ実習 【地域包括支援センター】

- 実習目標：①地域包括支援センターの担当圏域の高齢者の特徴および地域の特徴を説明できる
②地域で生活する高齢者の健康と生活についてアセスメントできる
③高齢者に対する介護予防ケアマネジメントの必要性について理解できる
④地域にある社会資源を把握し、活用方法について述べるができる
⑤地域の健康課題を把握し、解決に向けた取り組みについて考えることができる

(3) 公衆衛生看護学Ⅲ実習

Ⅲ-1) 【産業保健】

- 実習目標：①実習施設の機能と役割を理解し、概要を述べるができる
②働く人々の労働と健康の関連を理解する。
③産業保健活動の目的と活動の実際を理解する
④産業保健師・産業看護師の役割について考えることができる

Ⅲ-2) 【学校保健】

- 実習目標：①実習施設の機能と役割を理解し、概要を述べるができる
②学校における健康課題と必要な支援について理解する
③学校保健活動の目的と活動の実際を理解する
④学校保健活動における看護職の役割について考えることができる

3) 実習単位と時期

実習科目名	単位数	時間数	時期	実習施設
公衆衛生看護学Ⅰ実習	2	90	4年次 前期～後期	保健福祉センター その他関係機関
公衆衛生看護学Ⅱ実習	2	90	4年次 前期～後期	地域包括支援センター
公衆衛生看護学Ⅲ実習	1	45	4年次 前期	労働衛生機関・事業所 学校